

「当別町成人式」

1月11日(日) 11時

会場 総合体育館

男性147人
女性127人
計 274人

昭和58年4月2日 から
昭和59年4月1日
までに生まれた
方々です。



新成人のみなさん
おめでとうございます

みなさんのこれからの活躍を
期待いたします



連絡先・詳細

町教委社会教育課社会教育係
(「総合体育館」内・☎2-3834)

◆受付 10時～

◆式典・記念撮影 11時～

◆記念パーティー 12時～

記念写真の申し込みは当日会場で受け付け。
(1枚1,000円)

◆一般アンケート◆

町在住の15歳以上の男女1,200人（無作為抽出）

調査の目的

町では、「美しいまち当別をみんなで作る条例」を基本として、町民一人ひとりが身近な景観づくりに取り組むために、日頃から町の景観についてどのように考えているのかを調査しました。

概要

①期間 7月18日～31日

②内容

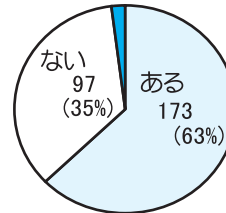
- ・当別町の景観への愛着度・条例の認知度・当別町らしい景観・当別町をイメージする色、緑や樹木、花
- ・現在の状況・好きな景観、嫌いな景観
- ・今後の景観形成に必要なこと
- ・今後の景観形成に関する役割・当別町への思い、景観形成の方法など

回収数（率） 275票（22.9%）

<集計結果からの抜粋>

景観への愛着に関する質問

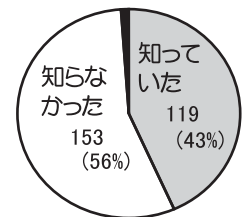
その他・無回答 5(2%)



Q:あなたは、当別町の景観に愛着がありますか？

Q:あなたは、「美しいまち当別をみんなで作る条例」を知っていましたか？

その他・無回答 3(1%)



景観基本計画策定に向けた

街並み・風景についての

アンケート調査の中間報告



広報7月号でお知らせしました街並み・風景などについてのアンケート調査（景観基本計画策定に向けた調査）を実施しました。

最終的にはこのデータを基に景観基本調査報告書として、3月までにまとめる予定です。

回収率は高くありませんでしたが、記述式で回答していただいたものの中には今後の参考になる意見がたくさんありました。この結果を、今後の景観形成の指針に反映させるための基礎資料とします。

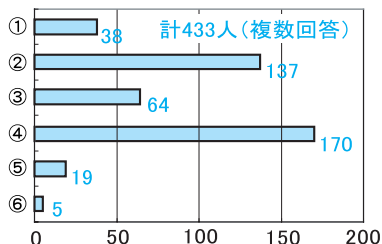
詳細

まちづくり推進課
☎ 3-3073

<集計結果からの抜粋>

当別町を美しい町にするために必要なことの質問

Q:当別町を美しい町にするために必要なことはどんなことですか？



- ①美しくするための約束や法律を決める
- ②皆が美しくする気持ちを持つようにする
- ③美しくするためにお金をかける
- ④美しくするための活動に参加する
- ⑤その他
- ⑥無回答

◆子どもアンケート◆

町内小中学校で実施

調査の目的

従来のアンケート調査は、成人を対象に実施されることが一般的ですが、まちづくりには、中長期的な計画を定めていくことが必要です。そこで、将来の当別町を担う子ども達が町の景観をどのように考えているかを把握することが重要なので、調査を実施しました。

概要

①対象 当別小学校、西当別小学校の5～6年生
当別中学校、西当別中学校の1～3年生
全10クラス（各学年1クラス） 計331人

②期間 7月10日～18日

回収数 全10クラス 331人より回答

町長の日記

15年12月13日(土)

先日来、イラクでテロの犠牲になった日本大使館の職員二人の葬儀の様子が何回もテレビで放映されたが若い遺族の姿が写るたびにいたいたしく感じた。

今日、札幌コンベンションセンターでイラクへの自衛隊を派遣することを強烈に非難する作家の講演を聞きながらさまざまな事を感じた。

もう忘れていた事だったのに思い出した事がある……………。

太平洋戦争中に私は母に云われるままに「オトウサン、オゲンキデスカ。」と云う手紙を何回も書いたが終戦後はシベリヤに抑留されたらしいと云う以外に父の音信は三年間途絶えた。

晩になると私達兄弟4人が寝ている枕元へ母が来て「俊彦、父さんは生きていると思うかい。」と8才の私に話しかけてきた時の母の顔を……………である。

60年近くたってあの時の母の寂しそうな顔は忘れていなかった事に気づいた。

父は昭和23年8月無事復員して来た。

然し外務省のあの家族に父は帰って来ない。

小泉総理が国民に危険を覚悟でイラクへ行く自衛隊員に敬意をはらってほしいと云われた、然し「気の毒でたまらない。」気持が先にたつのは私が思想的に変なのだろうか？

最低でも当別町の自衛隊員や家族に自衛隊員がいる当別の人に犠牲者が出ないでほしいと願う以外何も出来ない。

こんな私は国家観を持たない浅はかな自治体の首長なんだろうか。

60年も前、母が私に問いかけて来た時と同じ心境にいる。

イラクはキリスト教ではないからクリスマスは関係ないにしても、もうすぐ新年は来る。いい初夢を見たい。

当別町長泉亭俊彦

優良田園住宅の 基本方針を策定しました



- 3階建て以下
- 建ぺい率 30%以下
- 容積率 50%以下

優良田園住宅のイメージ

が求められています。このことから国では、「優良田園住宅の建設の促進に関する法律」に基づいて、農山村地域や都市の近郊に優良な住宅建設の促進に取り組んでいます。

町では、この法律を活用し北海道と協議をしながら町内での優良田園住宅の建設が可能な地区や条件が盛り込まれている「基本方針」を策定しました。

基本方針の詳しい内容を知りたい方はまちづくり推進課（☎3 - 3073）までご連絡ください。

市町村合併

～経過報告～ 8

12月定例町議会において、泉亭町長は市町村合併に関して次の行政報告を行いました。

- ◆地方分権時代の基礎自治体は、これまで以上に地域の特性を活かし、住民自治の充実を図りながら新しいまちづくりを行わなければなりません。それには新しい行政システムの構築が必要であり、当別町においては、合併問題は避けて通れない課題と考えます。
- ◆合併協議の相手（月形町と新篠津村から新篠津村1村へ）が変わったことを町民皆さんの理解を得るためには、新篠津村と歩調を合わせ、慎重に時間をかけて説明していくことが必要であると考えます。
- ◆12月9日に新篠津村の加賀谷村長と会談しましたが、新篠津村としても、合併協議の相手が変わったことと、2町村の財政シミュレーションや地方制度調査会の最終答申にあった「地域自治組織」に関する検討を深めてから、合併の協議を行いたいとの考えを確認しました。

こうした経緯から、年明け後の早い段階で、今後の取り組みについて、明らかにしていきたいと考えております。

市町村合併に関する出前説明会を開催しています。

質問・ご意見は企画部企画課（☎3-3042）へ。